

< 参考資料 >

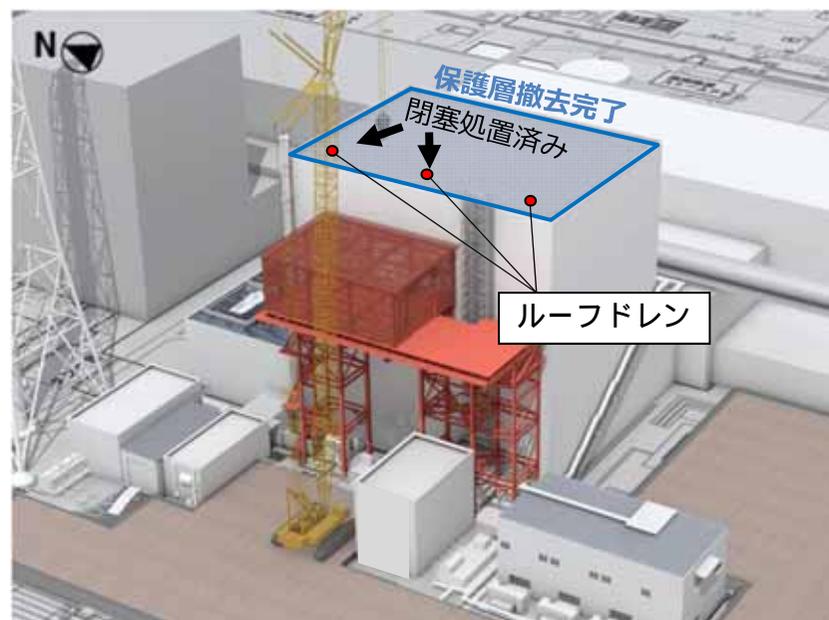
2号機原子炉建屋オペレーティングフロアへの 雨水流入状況について

TEPCO

2018年6月14日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2018年5月23日に西側外壁開口作業用に2号機原子炉建屋のオペレーティングフロア（以下、オペフロ）内カメラを設置したところ、屋上の雨水が流れ込み、床面が濡れている状況が確認された。（雨漏れしている可能性）
- 流入箇所の可能性のある2号機原子炉建屋屋上のルーフドレン3箇所のうち、2箇所について閉塞処置済み。
- 降雨時にオペフロ床面に雨水が一時的に溜まる状況にあり、今後雨漏れ状況調査、流入対策・雨水排水方法を検討する。
- なお、流入した雨水は、いずれ地下階に流れ込み建屋内滞留水となるため、オペフロ床面に溜まり続けるものではない。



2号機原子炉建屋 鳥瞰図

- 2号機原子炉建屋西側外壁面の開口作業状況をオペフロ内から確認するため、カメラを5月23日に設置。屋上の雨水が流れ込み、オペフロの床面が局所的に濡れている状況を確認。
- 6月11日の台風5号接近に伴う降雨により、ルーフトレン配管がずれていることで雨水が流れ込み、床面の広範囲に水がある状況を確認。（6月14日時点では、局所的に濡れている状態）



6月11日 オペフロ状況



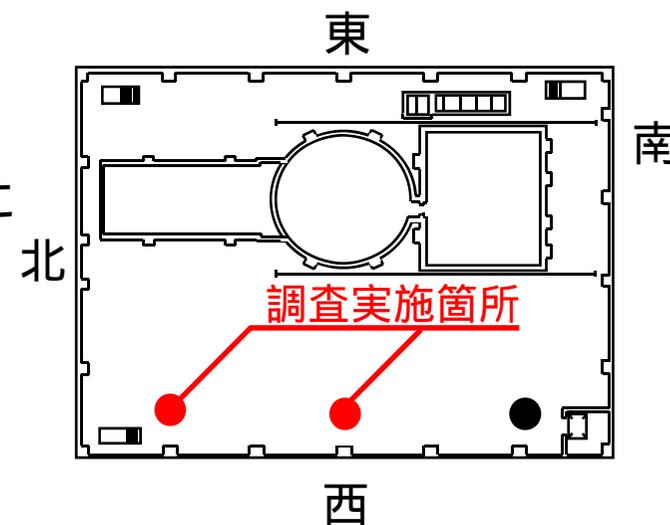
6月13日 オペフロ状況

ルーフドレン調査状況と今後の対応

- 6月12日に、2号機原子炉建屋屋上のルーフドレン3箇所の内、調査可能な2箇所を調査したところ、ルーフドレン配管が損傷していることを確認。応急対策として、同日に当2箇所（ ， ）のルーフドレン孔に鉛毛マット等を設置し閉塞処置を実施。

< 今後の対応 >

- オペフロ内への雨水流入を抑制するため、ルーフドレン孔の閉塞や排水方法を検討。
- なお、今後予定しているオペフロ調査については、床面の乾燥状況を確認しながら実施。



【ルーフドレンの配置図】

【ルーフドレン の状況】



閉塞処置前



閉塞処置後